

皆さまお変わりございませんか
 前回の「お笑いネタ」は大好評で
 会社や事務所に送らせて頂いたところでは
 社内回覧されていたとの状況でした。
 さで今回もお楽しみ下さい。

おじどうさん だより 鳥越順



Vol.5
 2003年
 2月

090-1630-8281
 kaijun@p2222.nsk.ne.jp

FPトピックス

大変だ!! いろいろとつもりにいる人
 早く!! 早く!!

英会話
 FP資格
 パソコン・CAD

教育訓練給付金が
 本年5/1受講開始のものより変更されます。

給付率 80% → 40%

上限額 30万 → 20万
 (加入期間の繰和は新たに設けられています)

社会保険に総額西州制の導入

本年4月以降に実施!!

今までは 月給とボーナスの健康保険と厚生金の
 保険料率が違っていたものが統一されます。

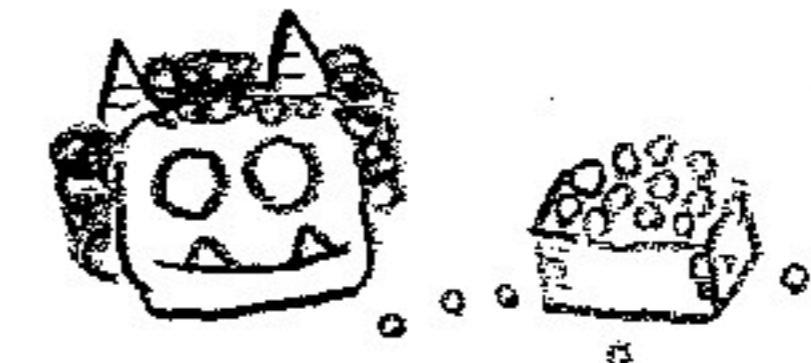
ほとんどの人が年間の社会保険料の負担が
 大きくなると思われています。

(例) 県内企業平均 月給28万 ボーナス年約3.6ヶ月で
 試算にすると
 1年と年間 63,048円も増えてました!!

本気で豆まき

「明日は本気で豆まきしよう!!」
 その言葉に息子は「部屋中豆で散らかしても
 いいんか?」「よーし! 思いっきりやろう!」
 迎えた当日、交代で鬼になることになり、ま
 づ息子が1番目。鬼のお面を着け、おもちゃ
 のバットを持って登場。皆で「鬼は外!」と
 豆まき。部屋をぐるりと1周して交代。妻を
 経て、いよいよ私の番。鬼のお面を着けて、
 盛り上げようと上半身裸になり部屋へ飛び込
 んだ。「ウオー、悪い子供はおらんかー」
 皆必死に逃げ回るので追いかけた。息子が
 「もう1回やりたい」と言うので再度鬼に。
 なんと息子は上半身裸のうえに、下はパンツ
 ー丁で登場してきた。息子も負けてはいない。
 思いっきり豆をぶつけては笑いあった。
 実は今回、鬼になるのを嫌がる娘を無理矢理
 させて泣かせてしまった。来年は笑って鬼を
 してくれるかな。

あと何回豆ま
 できるかな……



日本国の破産!? 対策

日本人の10%の人が上記のことを認識しています。
 さが=日本人の0.05%ぐらいの人がその時にそなえて
 何らかの手を打っています。
 もう、そんな時代に来ています。次回号でもう少し触れたいと思います。

ねぎらい

このテーマは私自身とても重要なことと思えます。

最近の日本では

ねぎらうことを忘れてしまっているようです。

ねぎらうとはほめることとは少し違うのですが

ねぎらうことばは快にながる。

私流に言うと「魂のごちそう」であります。

ねぎらわれると その人の心=自然にスイッチが入る!!

単純な言葉であるが

このようなねぎらいの言葉で 心気のスイッチが入る!!

↓
 ① 自己の心を理解してもらえると
 ② 自分も気持ちよくなる!!

「〇〇さんよくやってくれた!!」

「〇〇さん ありがとう!!」

「〇〇さんがここに居てくれてよかった。」

私の中の究極のことばとして

「〇〇さんあなたに出会えてよかった。」

「〇〇さんあなたが生まれてきてくれて
 ありがとう。」

お互いにねぎらい合える社会が
 作れるといいですね。